

介護実習Ⅱ

担当教員 吉岡 久美、馬場 敏彰

配当年次 1年

開講時期 第2学期

単位区分 選択

授業形態 実習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

- ・学内で学んだ講義、演習、学内実習を基にして、施設実習に応用する。
- ・生活障害を有する高齢者の施設を実習施設とし、要介護に応じて求められる介護技術の適正な使い方を身につけ、利用者の権利を尊重する態度を養う。
- ・利用者の自立支援の観点から、利用者の全人格的理解と福祉サービスの全体像を把握でき、適切な援助ができる能力を身につける。

【授業の展開計画】

【科目担当者実務経験】

吉岡 大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）、
介護福祉士養成校教員 他

馬場 介護施設（介護福祉士）、介護福祉士養成校教員 他

【実習の概要】

1. 利用者への適正な介護技術が援助でき、カンファレンスの意義やあり方、連携の必要性を理解して積極的な参加ができるようにする。
2. 福祉機器や福祉用具の知識と活用を学ぶ。

【実習内容】

1. 利用者の生活状況を理解する。
2. 障害に応じたコミュニケーションの方法を習得する。
3. カンファレンスについて理解し、実践する。
4. 利用者の状態やニーズに応じた介護技術や援助の方法を実践する。

【履修上の注意事項】

実習生として相応しい学修態度に留意し、実習中の課題に取り組むこと
実習前には、介護総合演習における事前学習を振り返ること（60分）
実習終了後は、実習を振り返った報告書を見直し、自己課題を明確にしておくこと（60分）

【評価方法】

施設評価60%、教員評価30%、その他10%

【テキスト】

新) 介護福祉士養成講座編集『介護総合演習・介護実習』中央法規

【参考文献】

本学で作成した「介護実習要項」と「実習日誌」等